

2016年3月期 決算説明会

2016年5月19日

△ 古河機械金属株式会社

* 本資料の予想につきましては、説明会開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

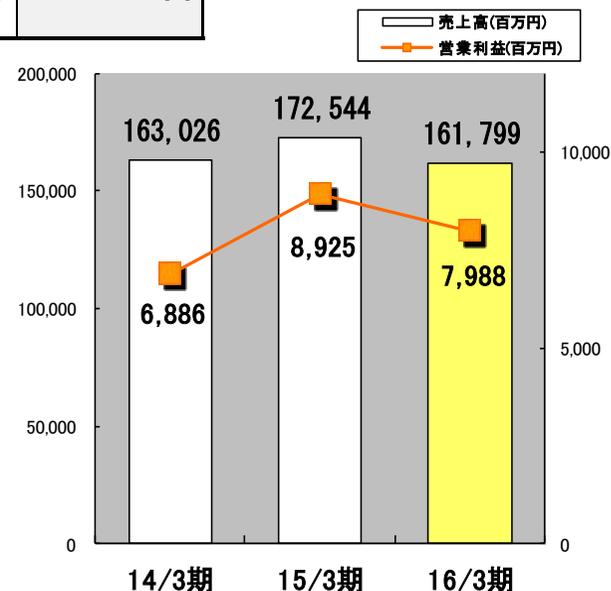
【業績】

(単位:百万円)

	14年3月期	15年3月期	16年3月期 期初予想	16年3月期	対15/3期 増減	対期初予想 増減
売上高	163,026	172,544	172,500	161,799	△10,744	△10,700
営業利益	6,886	8,925	9,000	7,988	△936	△1,011
営業利益率	4.2%	5.2%	5.2%	4.9%	-0.3%	-0.3%
経常利益	6,150	6,603	7,500	6,227	△375	△1,272
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,976	9,793	5,000	5,056	△4,737	56

【財務状況】

		15年3月期	16年3月期	対15/3期 増減
総資産	百万円	207,317	195,650	△11,667
純資産	百万円	70,581	68,262	△2,319
自己資本比率	%	33.2	34.0	0.8
1株当たり純資産	円	170.22	164.48	△5.74
R O E	%	15.90	7.50	△8.40



〔売上高〕

（単位：百万円）

	15年3月期	16年3月期	対15/3期増減
機械部門	75,990	72,232	△3,758
（産業機械）	(16,712)	(14,926)	(△1,786)
（ロックドリル）	(30,910)	(30,076)	(△833)
（ユニック）	(28,367)	(27,229)	(△1,137)
金属部門	81,513	74,192	△7,320
電子部門	5,743	5,477	△265
化成品部門	6,013	5,973	△40
不動産部門	2,535	3,045	510
その他	747	876	129
合計	172,544	161,799	△10,744

	16年3月期	対前年同期増減
銅価 \$/トン	5,215	△1,339
為替 円/\$	120.1	10.2

〔営業利益〕

（単位：百万円）

	15年3月期	16年3月期	対15/3期増減
機械部門	6,551	5,882	△669
（産業機械）	(1,711)	(1,037)	(△673)
（ロックドリル）	(1,225)	(2,217)	(991)
（ユニック）	(3,614)	(2,627)	(△987)
金属部門	1,449	1,154	△294
電子部門	52	△368	△421
化成品部門	267	197	△70
不動産部門	776	1,276	500
その他	△130	△72	57
調整額	△42	△80	△38
合計	8,925	7,988	△936

売上高

営業利益

1725億

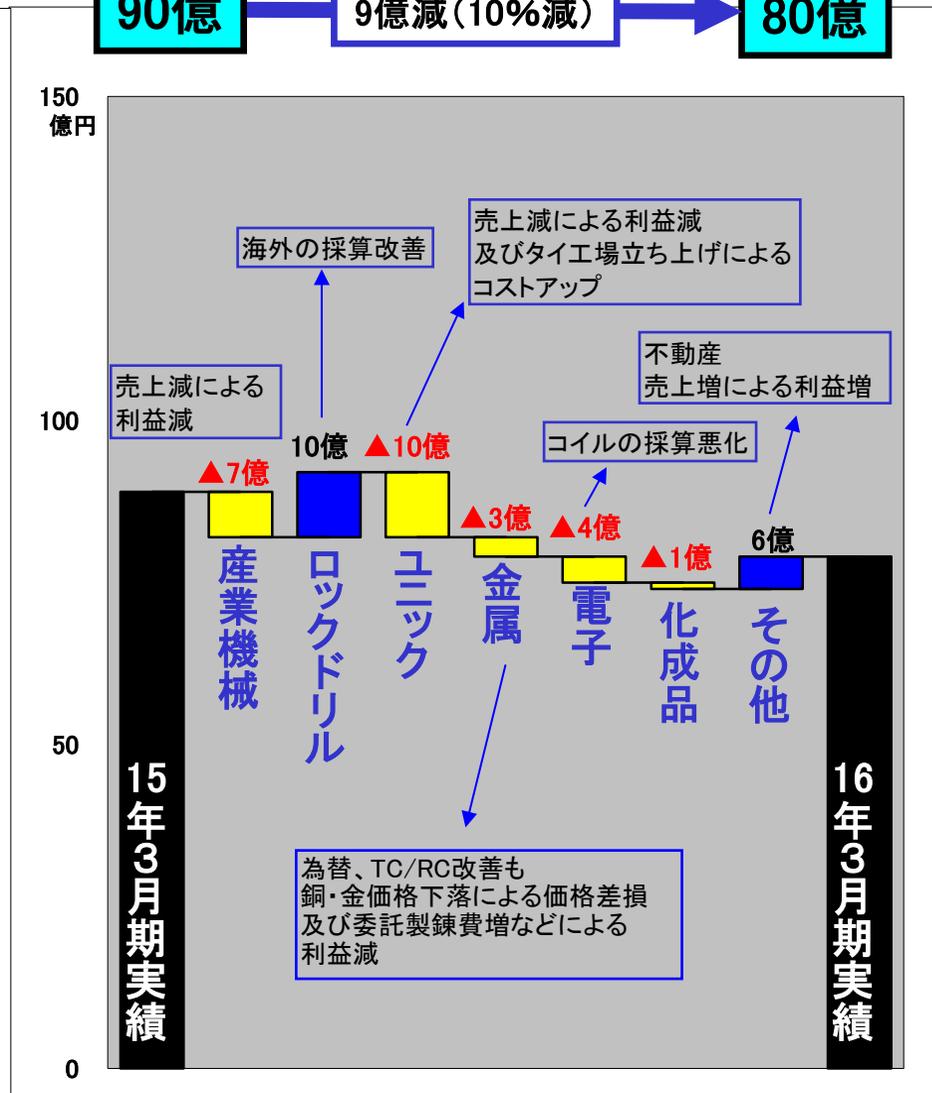
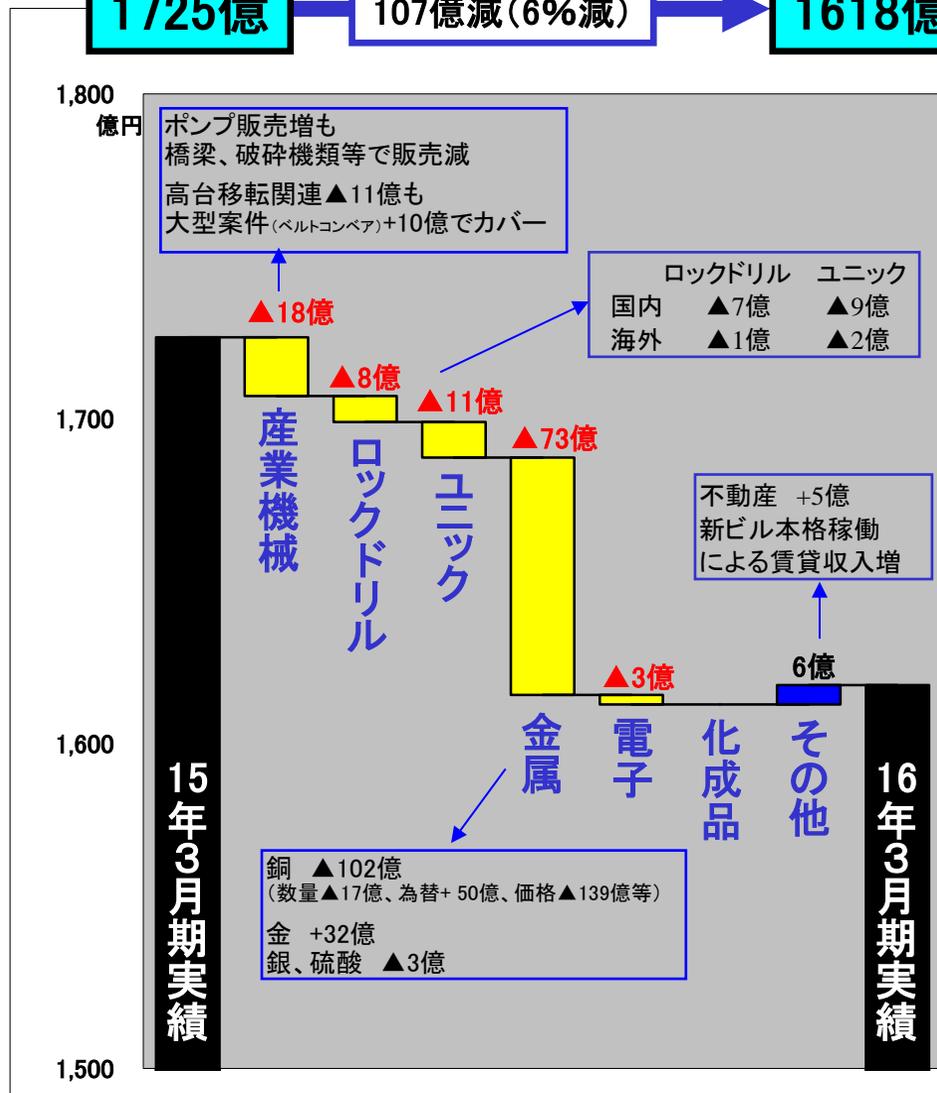
107億減(6%減)

1618億

90億

9億減(10%減)

80億



(単位:百万円)

	15/3月期	16/3月期	対15/3期増減
売上高	172,544	161,799	△10,744
売上原価	146,657	136,447	△10,210
売上総利益	25,886	25,352	△534
販売費及び一般管理費	16,961	17,363	401
営業利益	8,925	7,988	△936
営業外収益	1,278	1,077	△200
受取配当金	430	499	69
受取利息	105	141	36
その他	741	436	△305
営業外費用	3,600	2,838	△761
支払利息	912	807	△105
休鉱山管理費	560	601	41
為替差損	544	797	252
その他	1,582	632	△949
経常利益	6,603	6,227	△375
特別利益	2,148	700	△1,447
固定資産売却益	153	309	155
受取補償金	819	391	△427
事業撤退完了に伴う利益	644	-	△644
事業譲渡益	529	-	△529
その他	0	0	0
特別損失	2,591	297	△2,293
固定資産除売却損	74	79	4
減損損失	70	206	136
堆積場安定化工事引当金繰入額	2,408	-	△2,408
その他	37	11	△25
税金等調整前当期純利益	6,160	6,631	471
法人税、住民税及び事業税	1,263	1,161	△101
法人税等調整額	△5,017	304	5,322
非支配株主に帰属する当期純利益	121	108	△12
親会社株主に帰属する当期純利益	9,793	5,056	△4,737

持分法による投資損失の改善等

原発事故の風評被害に対する
損害賠償金

Port Kembla Copper Pty. Ltd 社の
事業撤退完了に伴う利益

パーキングシステム事業売却による
譲渡益

旧鉱山の堆積場の耐震性強化費用

Port Kembla Copper Pty. Ltd 社に
対する債権放棄等により
繰延税金資産を計上

(単位:百万円)

区分	15年3月期	16年3月期	対15/3期増減
資産の部			
流動資産	80,564	76,314	△4,249
固定資産	126,753	119,335	△7,417
有形固定資産	86,177	85,314	△863
無形固定資産	184	158	△26
投資その他の資産	40,391	33,862	△6,528
資産合計	207,317	195,650	△11,667
負債の部			
流動負債	63,870	59,749	△4,120
固定負債	72,865	67,637	△5,228
負債合計	136,735	127,387	△9,348
純資産の部			
株主資本	58,408	61,612	3,204
資本金	28,208	28,208	-
利益剰余金	30,257	33,467	3,210
自己株式	△57	△63	△5
その他の包括利益累計額	10,375	4,847	△5,527
新株予約権	53	-	△53
非支配株主持分	1,745	1,802	57
純資産合計	70,581	68,262	△2,319
負債純資産合計	207,317	195,650	△11,667

現金及び預金の減少等

株価下落等による投資有価証券の減少等

有利子負債の減少や未払金の減少等

■有利子負債 (単位:百万円)

	15年3月期	16年3月期	対15/3期増減
短期	12,658	12,656	△2
長期	69,395	63,585	△5,810
有利子負債合計	82,053	76,241	△5,812

株価下落による
その他有価証券評価差額金の減少等

【業績予想】

（単位：百万円）

	16年3月期	17年3月期 予想	対16/3期 増減
売上高	161,799	161,500	△299
営業利益	7,988	8,000	11
営業利益率	4.9%	5.0%	0.1%
経常利益	6,227	6,500	272
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,056	4,500	△556

【前提条件】

	16年3月期 実績	17年3月期 予想	対16/3期 増減
銅価 \$ / トン	5,215	5,000	△215
為替 円 / \$	120.1	110.0	△10.1

【売上高】

（単位：百万円）

	16年3月期	17年3月期(予想)	対16/3期増減
機械部門	72,232	75,500	3,267
（産業機械）	(14,926)	(18,000)	(3,073)
（ロックドリル）	(30,076)	(29,300)	(△776)
（ユニック）	(27,229)	(28,200)	(970)
金属部門	74,192	70,000	△4,192
電子部門	5,477	5,700	222
化成品部門	5,973	6,100	126
不動産部門	3,045	3,000	△45
その他	876	1,200	323
合計	161,799	161,500	△299

【営業利益】

（単位：百万円）

	16年3月期	17年3月期(予想)	対16/3期増減
機械部門	5,882	5,600	△282
（産業機械）	(1,037)	(1,100)	(62)
（ロックドリル）	(2,217)	(1,500)	(△717)
（ユニック）	(2,627)	(3,000)	(372)
金属部門	1,154	1,250	95
電子部門	△368	50	418
化成品部門	197	250	52
不動産部門	1,276	1,000	△276
その他	△72	△70	2
調整額	△80	△80	0
合計	7,988	8,000	11

2017年3月期部門別業績予想の増減

売上高

営業利益

1618億

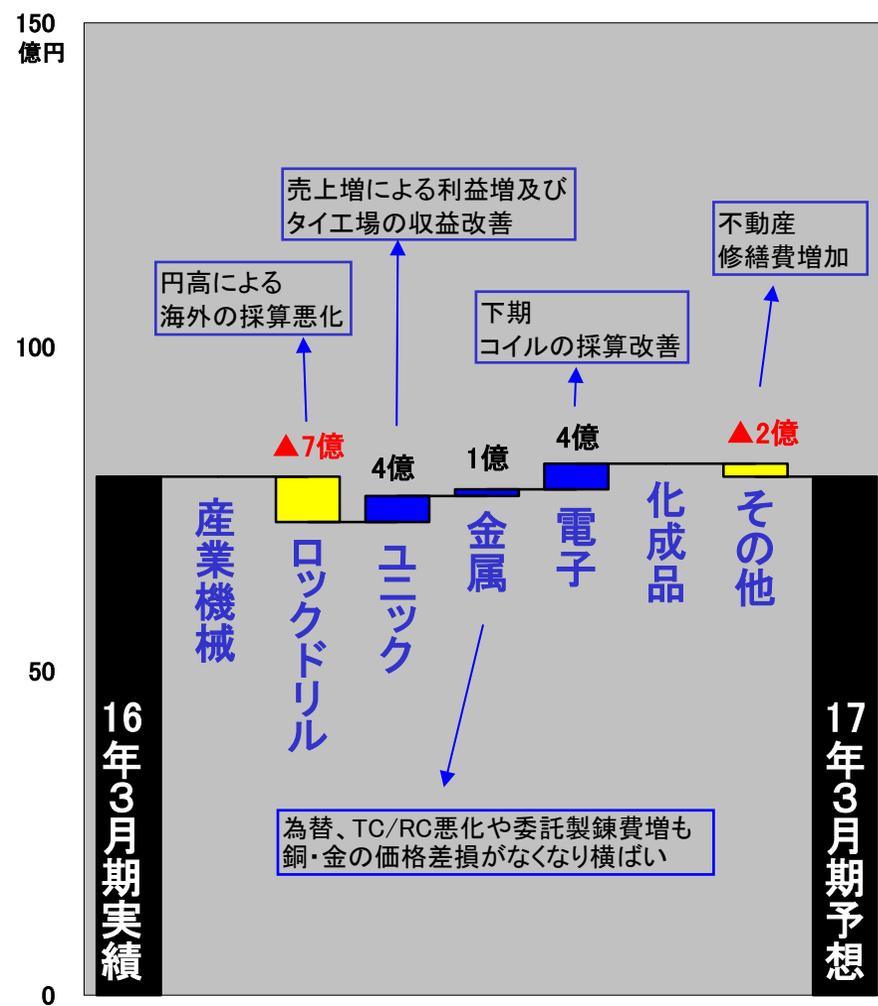
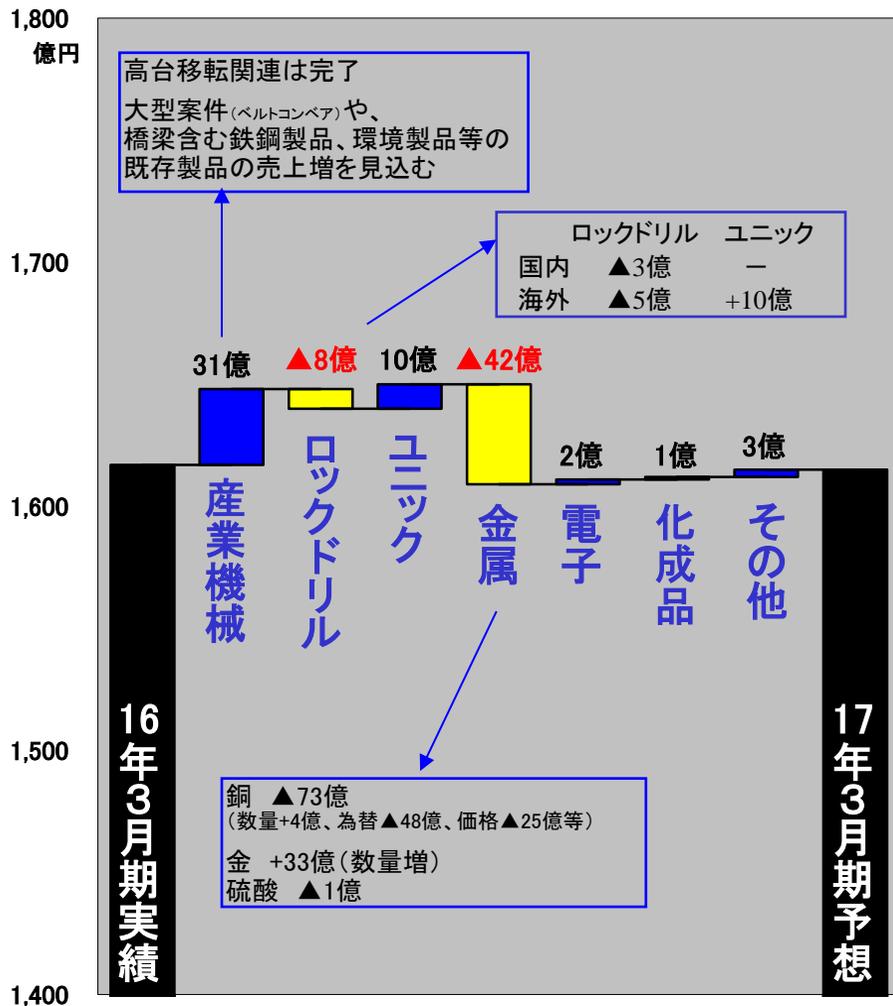
3億減(横ばい)

1615億

80億

0億(横ばい)

80億



設備投資の状況(連結)

(単位:百万円)

設備投資額	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 (予想)
機械部門	1,530	1,670	1,387	4,800
金属部門	769	96	291	150
電子部門	694	287	383	100
化成品部門	122	214	329	150
不動産部門	7,769	102	192	100
その他	543	186	285	500
設備投資 合計	11,430	2,557	2,869	5,800

ユニック部門で約40億円の
設備投資を予定
※詳細はP13-15参照

減価償却費の状況(連結)

減価償却費	2,828	3,223	3,190	3,100
-------	-------	-------	-------	-------

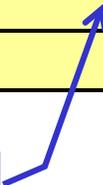
研究開発費の状況(連結)

研究開発費	2,538	2,227	2,680	2,600
-------	-------	-------	-------	-------

金属製品・為替の状況（連結）

		14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 (想定)
銅海外相場(平均)	¢/ポンド	322.2	297.3	236.5	226.7
	\$/トン	7,104	6,554	5,215	5,000
円相場 対米ドル平均(円/\$)		100.24	109.93	120.13	110.00
《古河メタルリソース(株)生産販売》		14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 (予想)
銅 生産量(t)		87,767	90,447	86,466	89,006
銅 販売量(t)		94,966	96,675	94,327	94,950

共同製錬先の減産による減少



従業員の状況

	14年3月末	15年3月末	16年3月末	対15/3末増減
連結人員(名)	2,413	2,456	2,521	65
うち単独人員(名)	221	207	214	7



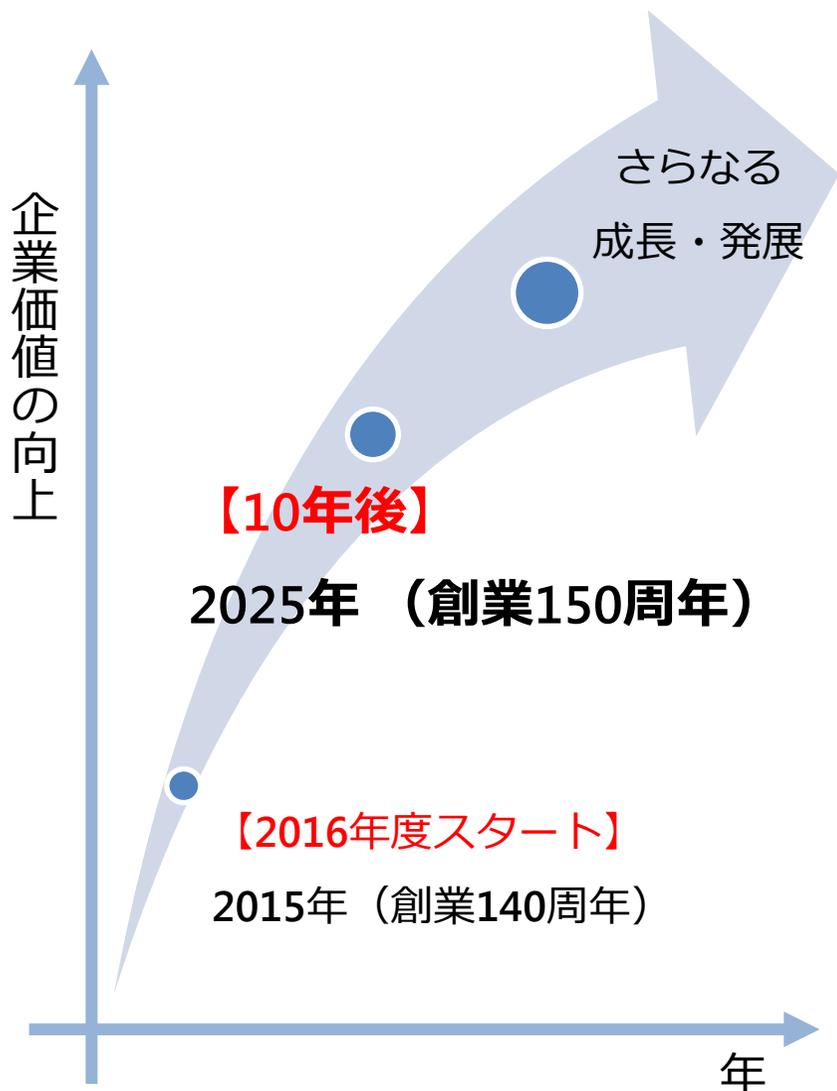
カテゴリートップ・オンリーワン

を基軸として成長する企業グループの実現

2016年度よりスタート

「守り」から「攻め」へ!!!

◆ 創業150周年を見据え、当社グループの進むべき方向性を明確化



経営理念

古河機械金属グループは、
鉱山開発に始まり
社会基盤を支えてきた技術を進化させ、
常に挑戦する気概をもって
社会に必要とされる企業であり続けます。

(2015年8月8日制定)

2025年ビジョン

「FURUKAWA Power & Passion 150」

カテゴリトップ・オンリーワン
を基軸として成長する企業グループの実現

(2015年11月6日制定)

カテゴリートップ・オンリーワンを基軸として成長する企業グループの実現

<ビジョン達成のための方針>



『マーケティング経営』による
古河ブランドの価値向上

機械事業の
持続的拡大

人材基盤の
拡充・強化

企業価値向上に
資する投資等の
積極的推進

経営基盤の整備



2025年度（創業150周年）に向けて
連結営業利益150億円超の常態化

現在、事業ごとに中期経営計画2017-2019を策定中

背景

- 国内は大きな市場拡大は見込めない（代替需要中心）
- 拡大が期待される海外市場（現在の海外売上比率は20%程度）

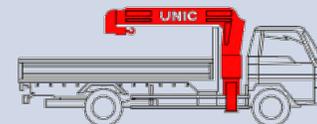
ユニック事業の将来構想

- オンリーワン技術による**ユニックブランド**強化
- 国内市場においてシェアを維持・拡大
- 国内とは異なる海外ビジネスモデルの確立
- 国内（佐倉工場）、タイ、中国での3極生産体制の強化



施策

- 製品開発・モノづくり施策
 - ・ オンリーワン技術を活かした「高品質」「高性能」「オリジナリティ」な製品開発
 - ・ オンリーワン・カテゴリートップの源となる基幹部品の内製化による差別化
 - ・ QCD（品質・コスト・納期）の徹底追求
- 営業・サービス施策
 - ・ 海外販売網の整備
 - ・ 営業・サービス員の育成及び強化（特に海外販売代理店）
 - ・ ストックビジネスの強化



先行してモノづくり面を強化

佐倉工場の設備投資の目的

- 油圧機器製造工程改革
品質向上、内製化推進
- 塗装工程改革
品質向上、省人化実現
- 本工場レイアウト改革
導線改善、徹底したムダ取り
- 架装工程改革
架装能力・技術向上、架装費低減
- 事務・研修棟新設
国内外の営業・サービス育成及び強化

UNIC



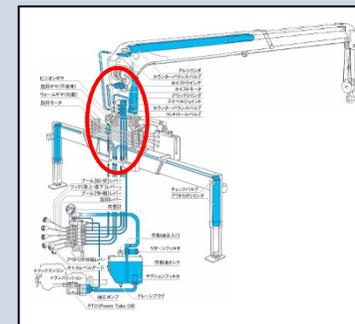
3
年
後



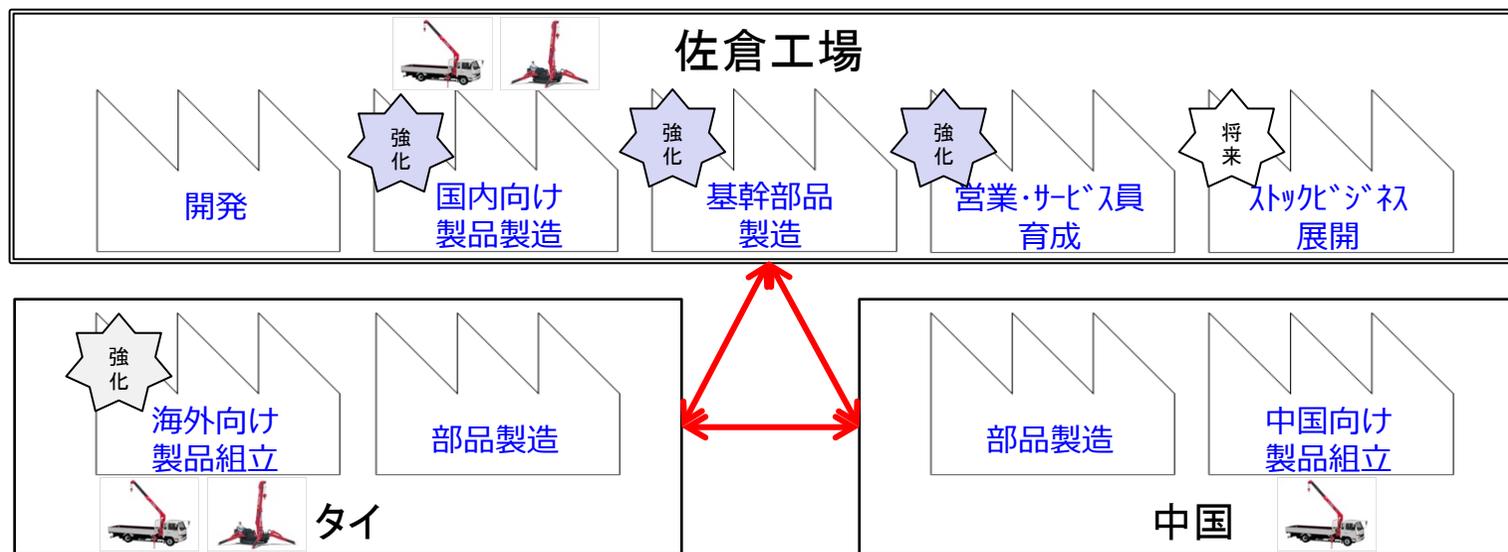
大規模な設備投資実施
(3年間で約90億円)

佐倉工場の位置づけ（役割）

- オンリーワンとなるユニック製品の開発
- 国内向け製品の製造
- コントロールバルブ等の基幹部品となる油圧機器の内製化の推進
- 海外工場に対する指導及び管理
- 営業・サービス員の育成拠点
- ストックビジネスの展開拠点



UNIC



佐倉工場をマザー工場として三極生産体制を強化

大規模土砂搬送として「ベルトコンベア」の営業強化

陸前高田市での高台移転工事に採用された実績をベースに
大規模土砂搬送におけるベルトコンベアの優位性を訴求

陸前高田市での土砂破碎搬送設備イメージ



【ベルトコンベアの優位性】 工期短縮、省人化、環境配慮が可能

- ・ 大規模な搬送量であるほどダンプと比べ工期短縮が可能
(陸前高田市では土砂搬送工期が約1/3に短縮)
- ・ 機械搬送なので省人化が可能
- ・ ダンプ輸送による道路渋滞や埃による環境悪化を回避
→安全性、省エネ、CO₂削減に貢献

- 大型案件受注済み
→対応に全力を注ぐ



小山工場にて実証設備を仮組みし、
稼働テスト実施済み

リニア中央新幹線トンネル工事向けに出張所を開設

【営業・サービス体制を強化】

- ・ 稼働現場に近い長野県下伊那郡に
現地協力会社と協働する出張所を開設（2016年4月）
- ・ 営業活動に加え、部品販売や修理・サービス、
トンネルドリルジャンボ本体の整備を行う
- ・ 神奈川地区、名古屋地区を含めたサービス員の統括的な管理
質が高く迅速な対応を可能とした広域サービス体制を構築



公表されている山岳トンネル工事の具体的な案件

	工事件名	トンネル延長	施行者	施行者決定月及び 見積書提出時期
工事施工者が決定済み	南アルプストンネル・山梨工区	7.7km	大成・佐藤・銭高JV	2015年8月契約
	南アルプストンネル・長野工区	8.4km	鹿島・飛島建設・フジタJV	2016年2月契約
見積の公告済み	第四南巨摩トンネル新設西工区	2.6km		2016年6月16日
	日吉トンネル新設南垣外工区	7.4km		2016年5月20日
	主要地方道松川インター大鹿線道路トンネル新設	0.9km		2016年6月17日
	主要地方道松川インター大鹿線道路トンネル新設	1.2km		2016年6月17日
	中央アルプス・トンネル1	4.6km		2016年7月14日
16年度発注予定が 鉄道運輸機構より発表された案件	伊那山地トンネル	5.1km		2016年6月16日
	中央アルプス・トンネル2	7.2km		
	中央アルプス・トンネル3	6.84km		

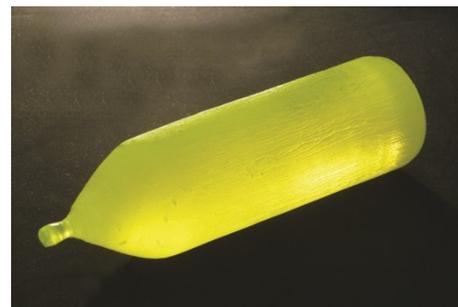
※関連資料
補足資料P6-10参照



●本格的に稼働台数が増えるのは2017年度以降→受注活動に全力を注ぐ

【GAGGシンチレータ結晶の強み】

- ・密度が高く高感度な測定が可能
- ・潮解性がなく空気中の水分の劣化がない
※潮解性…空気中の水分を吸収し溶解する性質
- ・0℃以下（-20℃まで）でも測定が可能



GAGG（ガドリニウム アルミニウム ガリウム ガーネット）結晶

■ GAGGシンチレータ結晶の用途開拓

これまでに、放射線の空間線量を計測する「放射線測定器」や対象となる物質の放射線濃度を検出する「非破壊式放射線測定装置」を開発



現在 **GAGGシンチレータ結晶の特性が評価され
同結晶を用いた放射線測定器が
福島県内で設置が進むモニタリングポストに採用**

このほか、シイタケ原木用放射線測定装置でも稼働し始め、応用展開が進む



●放射線測定器のほか、医療用や宇宙観測用の問い合わせ増
→引き続き同結晶の製造・販売並びに用途開拓を進める

補足資料一覧

・ 技術の系譜と事業領域

・ 機械事業のキーワード

- ① トンネル工事 (リニア向け強化)
- ② コンクリート
- ③ 土木・建設現場
- ④ 海外



・ 理解促進コンテンツ紹介

- ・ 過去の部門別実績及び業績予想
- ・ 銅価格及び為替相場推移

FURUKAWA 5分でわかる! 古河機械金属

製品編 (Product Line):
産業の基盤を支え、国のあるちで人々の暮らしを見守っている古河機械金属の製品たち。その幅広い活躍を紹介します。

- ▶ 都市づくり、インフラ整備に1
- ▶ 都市づくり、インフラ整備に2
- ▶ 建設現場、資材現場、物流に
- ▶ 産業に欠かせない「産産」を商品提供
- ▶ IT・エレクトロニクス業界へ貢献
- ▶ 未来を拓く、研究開発

歴史編 (History Line):
銅山経営に情を注ぎ、わが国の産業発展に貢献してきた30年以上の歴史ある古河機械金属グループの原点を辿ります。

- ▶ 明治～大正 銅業から鉱山経営拡大まで
- ▶ 大正～昭和 多角化の進展
- ▶ 平成～ 世界に目をぼたく 古河機械金属グループ

1875（明治8）年創業以来、当社は銅山事業を出発点に様々な事業を展開、
鉱山開発で培われた技術は、現在の事業領域の礎となっています。

古河機械金属技術の系譜



金属事業



電気銅



硫酸



シールドポンプ



粉砕機



鋼構梁

化成事業



亜酸化銅



酸化銅



高純度金属化合物



コア・コイル

産業機械事業

電子材料事業

不動産事業



不動産



ロックドリル事業



トンネルドリルジャンボ



油圧クローラドリル



油圧ブレーカ



油圧圧砕機

ユニック事業



ユニッククレーン



ミニクローラクレーン



ユニックキャリア

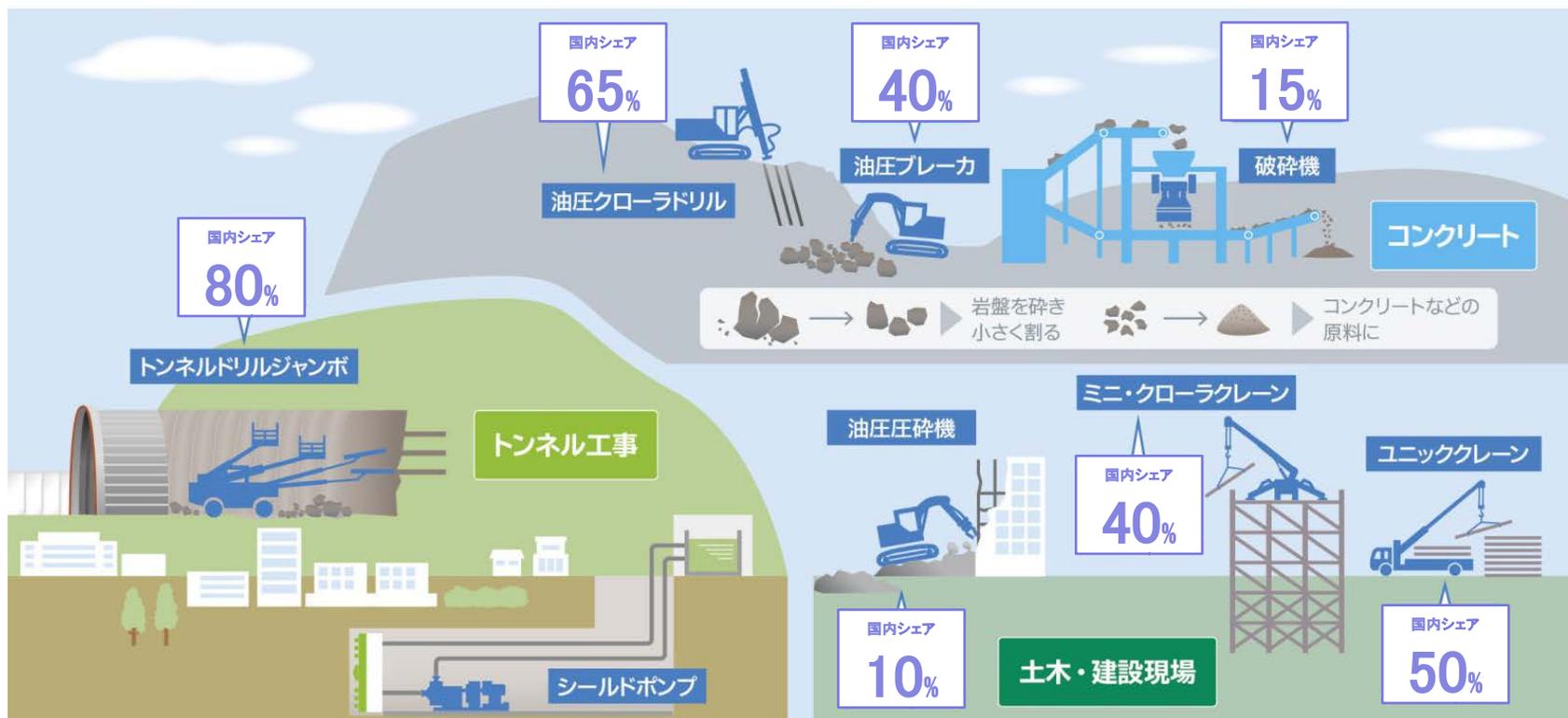


ユニックバル

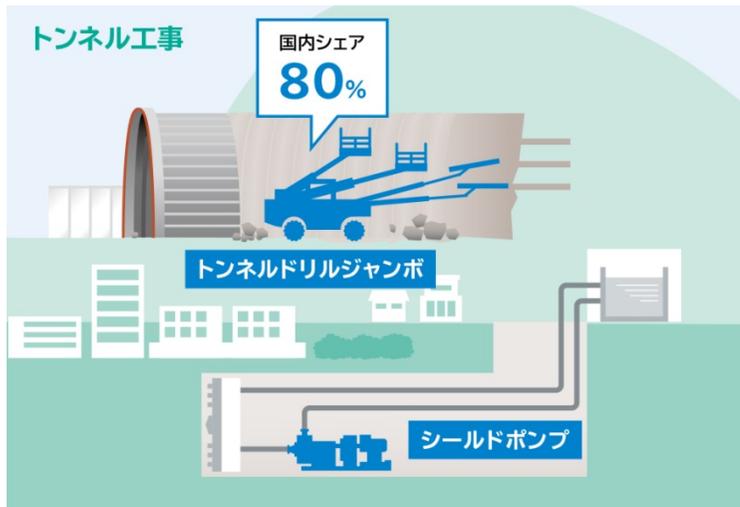
機械事業 4つのキーワード

- ① トンネル工事 ② コンクリート ③ 土木・建設現場 ④ 海外

インフラ整備にかかる当社製品群と国内シェア



キーワード① 「トンネル工事」



重点分野	主な建設現場
トンネル工事	復興道路、復興支援道路 整備新幹線 リニア中央新幹線 外環道、等

トンネル種類	掘削工法	当社製品	実績例
山岳トンネル	発破工法	・トンネルドリルジャンボ ・油圧ブレーカ	・八甲田トンネル ・青函トンネル ・関越トンネル 他
地下・海底トンネル	シールド工法 泥水式	・シールドポンプ	・東京湾アクアライン ・つくばエクスプレス 他
	シールド工法 土圧式	・ベルトコンベア	・なし (陸前高田市 土砂搬送)



トンネルドリルジャンボ：
岩盤発破に必要な火薬装填用の
穴を開けるロックドリル



油圧ブレーカ：
岩盤掘削や発破後の
浮石除去に使用



シールドポンプ：
掘削した土砂を水と一緒に排出する
ポンプ



ベルトコンベア：
掘削した土砂を搬送する
ベルトコンベア

キーワード① 「トンネル工事」 / リニア

リニア中央新幹線・山岳トンネル工事 (NATM)の特徴

- ・ 急速施工が求められる
… 2027年開通予定→実質掘削期間は7～8年と推定
- ・ トンネル掘削延長が長い
- ・ 大断面掘削である
- ・ 切羽安定性の懸念がある…大量湧水・破砕帯遭遇等



実験線を走る新型リニア車両L0系

主な本坑となる山岳トンネルの概要 (計16本、総延長約138km)

※実験線及び都市トンネル除く

〈神奈川～山梨間〉	16,725m	▽津久井 (6,276m)	▽藤野 (10,449m)		
〈山梨～長野間〉	51,467m	▽第三南巨摩 (2,521m)	▽第四南巨摩 (8,627m) ▽南アルプス (25,019m)	▽伊那山地 (15,300m)	
〈長野～岐阜間〉	37,980m	▽風越山 (5,638m)	▽中央アルプス (23,288m)	▽瀬戸 (4,371m)	▽駒場 (4,683m)
〈岐阜～名古屋間〉	25,280m	▽第二大井 (1,561m)	▽長島 (5,927m)	▽日吉 (14,532m)	▽美佐野 (3,260m)
〈関東車両基地回送線〉	6,196m	▽上り関東回送線 (3,043m)	▽下り関東回送線 (3,153m)		

キーワード① 「トンネル工事」 / リニア

本坑以外の山岳トンネル（非常口）

（計28本、総延長約35km）

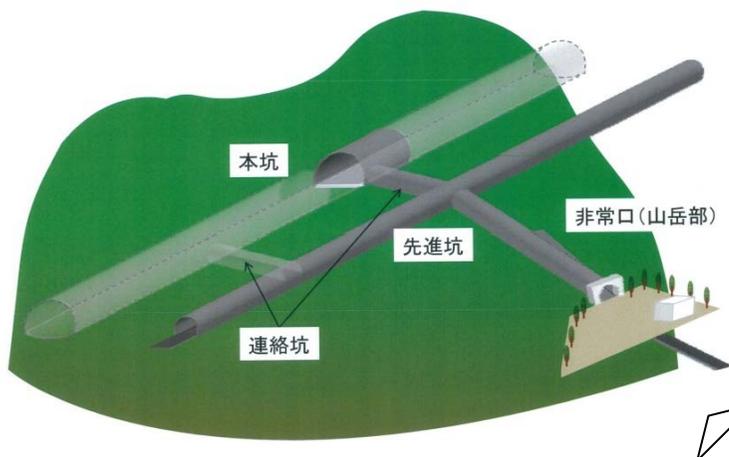
〈神奈川～山梨間〉 3本 2,650m

〈山梨～長野間〉 12本 21,400m

〈長野～岐阜間〉 8本 6,600m

〈岐阜～名古屋間〉 4本 3,200m

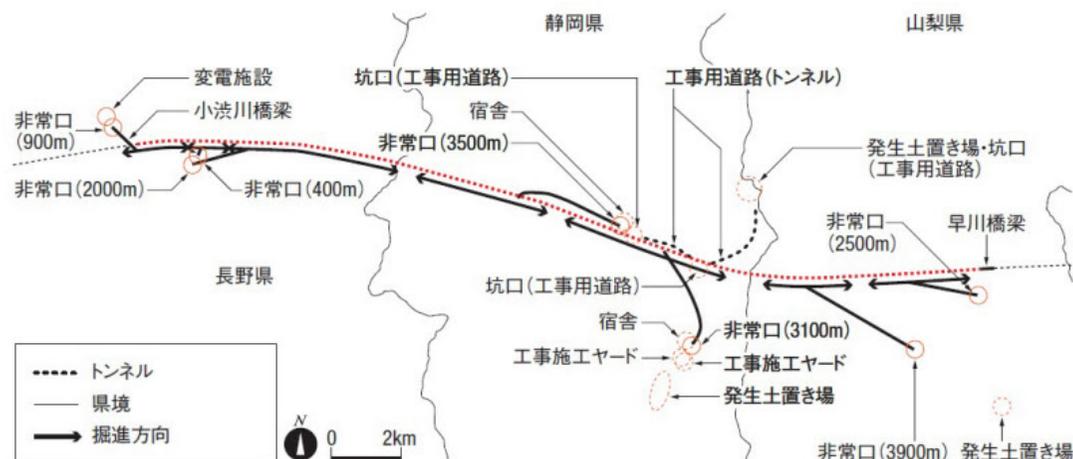
〈関東車両基地回送線〉 1本 500m



施工者が決定済みの山岳トンネル工事案件

	工事件名	トンネル延長(本坑)	施行者	
工事施工者が決定済み	南アルプス・山梨工区	7.7Km	大成建設JV	決定済み
工事施工者が決定済み	南アルプス・長野工区	8.4km	鹿島JV	決定済み

■南アルプス隧道の工事概要



図中の非常口に続くカッコ内の数字は斜坑の延長。JR東海は2008～11年に山梨県早川町で延長3kmの水平ボーリングを実施した

キーワード① 「トンネル工事」 / リニア

<強み①> リニア向け新型トンネルドリルジャンボを開発

【大断面掘削、急速施工をサポートする新機能搭載】

「新開発油圧ドリフタ」搭載

- ・ クラス最大級の打撃力により高速穿孔が可能



「ドリルNAVI」搭載

- ・ 全断面追尾式穿孔誘導システム（ドリルNAVI）により穿孔位置・差角・深さをナビゲーションし、オペレータが簡単かつ正確に穿孔作業が可能
- ・ 穿孔データを自動記録しリアルタイムで地質の把握が可能
- ・ 無線LANによる外部との情報共有に加え遠隔監視も可能
- ・ 故障発生時に現場から離れた工場でも原因分析が可能

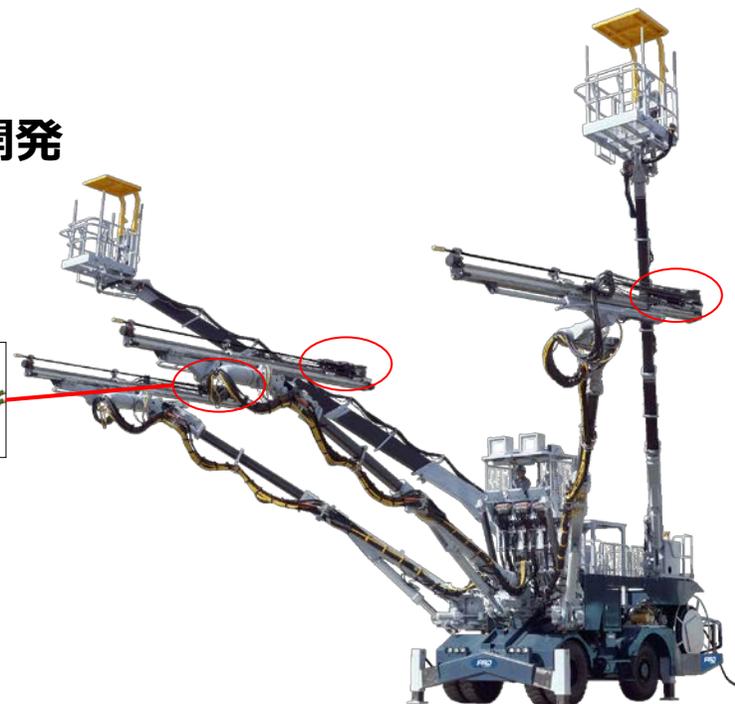
切羽（ドリルNAVI）



現場事務所

オンラインでデータを共有

サービス拠点

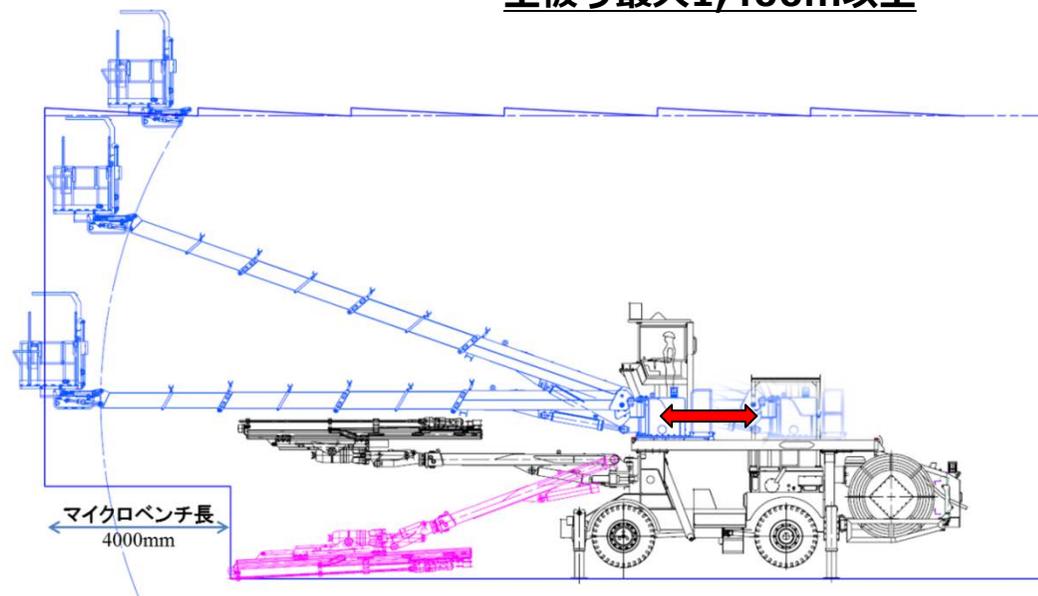
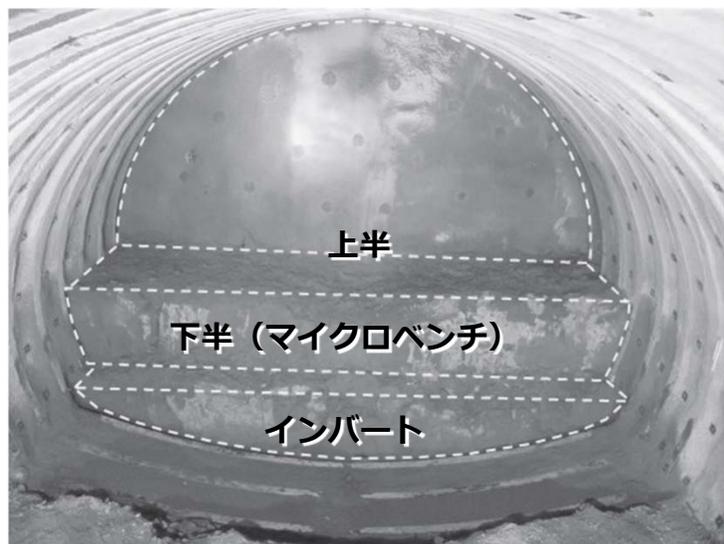
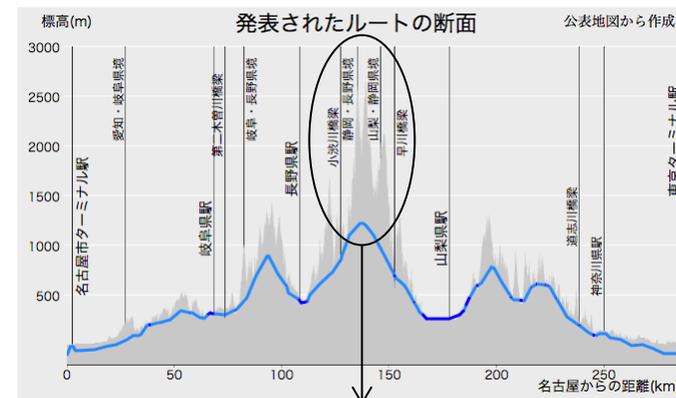


キーワード① 「トンネル工事」 / リニア

<強み②> マイクロベンチ工法に対応 (補助ベンチ付全断面掘削工法)

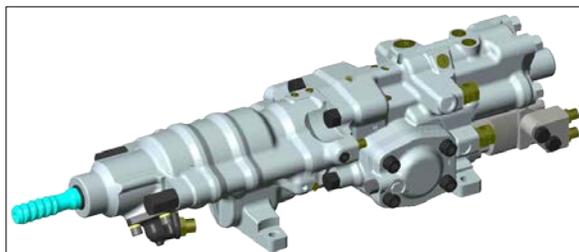
【日本の不安定な地層構造に適した掘削方法を実現】

- ・ 上下半の同時作業を最適化した機械構造 (ブームベーススライド等) により、作業性と安全性向上に大きく寄与
- ・ 急速施工が求められ、かつ土被りが大きく、湧水・破碎帯等の切羽安定性に懸念がある工事において機能的優位性が高い



キーワード① 「トンネル工事」 / リニア

<強み③> 世界最高水準の油圧ドリフタを造る技術力



【心臓部である油圧ドリフタを一貫生産】

- ・ さく岩機メーカーとして100年以上の経験値とノウハウを活かした独自の設計理論 (=独自ノウハウ)
 - ・ 高い熱処理技術と1/1000mmの機械加工精度
使用条件に応じた部品毎の最適熱処理と加工により高品質を確立
- 過酷な条件下で高性能と耐久性が求められる油圧ドリフタを高い精度で一貫生産できる設計・生産技術を有する

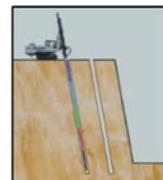
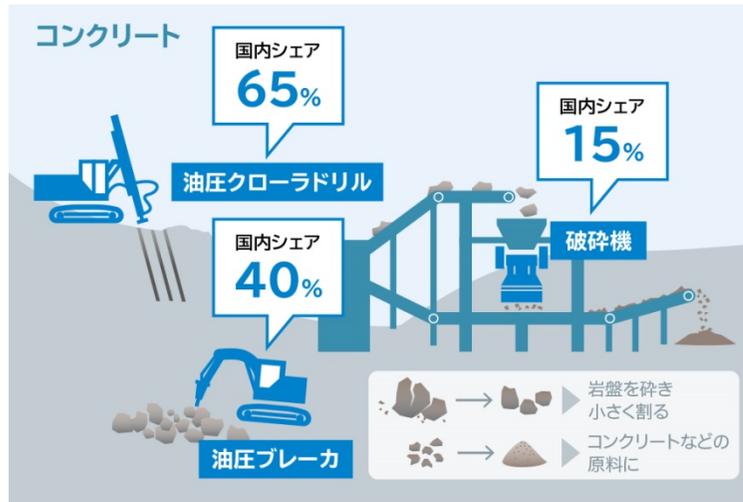
<強み④> サービス体制の充実

【アフターサービスなどのサポート体制を強化】

- ・ 稼働現場に近い長野県下伊那郡に
現地協力会社と協働する出張所を開設 (2016年4月)
- ・ 修理・サービスのほか本体整備も対応
- ・ 神奈川地区、名古屋地区のサービス員を統括的に管理
質が高く迅速な対応を可能とした広域サービス体制を構築



キーワード②「コンクリート」



重点分野	主な建設現場
コンクリート	砕石、石灰石鉱山 砕石プラント、等



油圧クローラドリル：
岩盤発破に必要な火薬装填用の穴を開ける機械

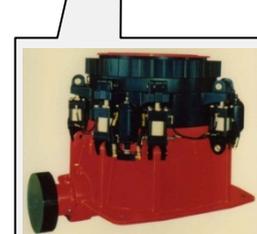


油圧ブレーカ：
発破後の大きな岩石を小割する油圧ショベルのアタッチメント製品

■コンクリートとは
骨材（砂や砂利）とセメント、水などを混ぜ結合させたもの。
骨材には**砕石**、セメントには**石灰石**が含まれます。



破碎機（1次）：
岩石を小さく砕く

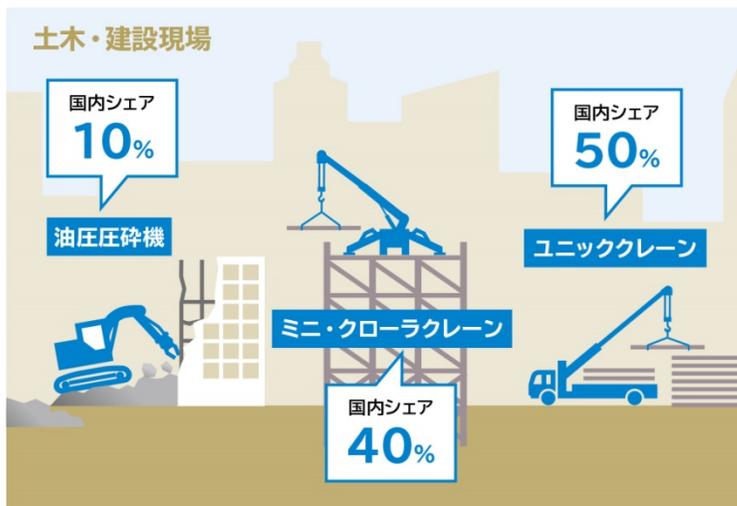


破碎機（2次）：
さらに岩石を小さく砕く



スクリーン：
岩石をふるい分けする

キーワード③ 「土木・建設現場」



重点分野	主な建設現場
土木・建設現場	土木工事 ビル建設 解体現場、等

ユニッククレーン：
建築資材などの運搬と積み降ろし作業が一台でできるトラック搭載型クレーン

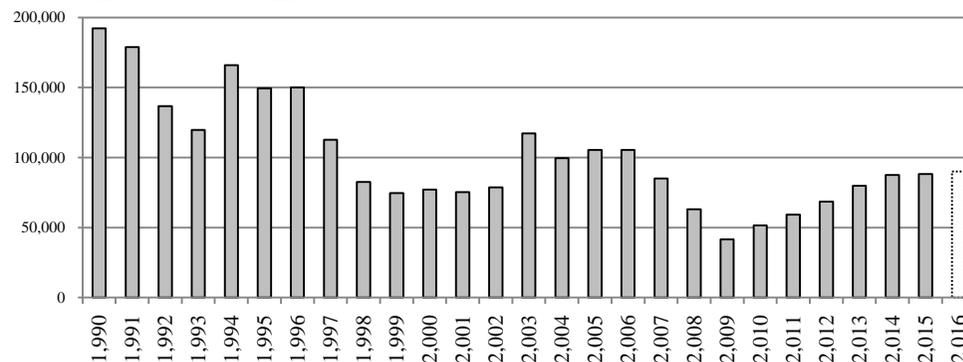


油圧圧砕機：
コンクリートの解体に使用する油圧ショベルのアタッチメント製品



ミニ・クローラークレーン：
トラックの入り込めない場所で作業可能な自走式クレーン

普通トラック登録台数



※当社調べ

キーワード④ 「海外」

重点分野	主な現場
資源開発	各種鉱山(銅、鉄鋼、石炭等) 砕石現場
インフラ整備	土木工事 ビル建設



油圧クローラドリル



油圧ブレーカ

ロックドリル事業 (拠点：①②③④⑤⑥)

発破用の穴を掘る油圧クローラドリルや大きな岩石を破碎する油圧ブレーカは、鉄鉱石・銅鉱石・石炭・石灰石等の各種鉱山や砕石現場などの「資源開発」、岩盤の硬い地域の「インフラ整備」などにおいて活躍。



ユニッククレーン



ミニ・クローラクレーン

ユニック事業 (拠点：⑦⑧⑨)

トラック搭載型クレーンのユニッククレーンは、新興国を中心に市場開拓。コンパクトで自走可能なミニ・クローラクレーンは、建設現場や屋内の狭いスペースで作業可能なため、欧米を中心に用途開拓が進む。

■ 会社紹介映像「FURUKAWA 140 YEARS」



創業140周年を機に刷新した会社紹介映像です。

- ① オープニング「140 years」
…過去から現在までの写真を並べ140年を表現
- ② 「古河機械金属のなりたち」
…足尾銅山の古いフィルムから当社起源を紹介
- ③ 「近代化への道」
…日本の高度成長期にどう関わってきたかを紹介
- ④ 「未来へと続く道」
…現在の主力製品群を紹介

当社の原点、社会との関わり、製品群を短時間で確認できる映像ですので是非ご覧ください！！

<https://www.youtube.com/watch?v=hVFQY8Ahp0s>



■ シネマPV「社会基盤を支える古河機械金属 インフラ編」



インフラ整備の川上から川下まで当社の製品がどのように関わっているかを紹介したイメージPVです。

採掘現場で活躍する「油圧クローラドリル」や「破碎機」、トンネル工事に不可欠な「トンネルドリルジャンボ」、建設現場でみる赤いクレーンの「ユニック」など、実際の現場で撮影しシネマ化しました。

当社機械事業の理解にお役立て下さい！！

https://www.youtube.com/watch?v=gTszdxNNG_w



■ HPスペシャルコンテンツ「5分でわかる！古河機械金属」

FURUKAWA
5分でわかる!
古河機械金属

これも古河! **製品編** **なるほど古河!** **歴史編**

産業の基礎を支え、街のあちこちで人々の暮らしを見守っている古河機械金属の製品たち。その幅広い活躍を紹介します。

- ▶ 都市づくり、インフラ整備に1
- ▶ 都市づくり、インフラ整備に2
- ▶ 建設現場、荷役現場、物流に
- ▶ 産業に欠かせない金属、化成品提供
- ▶ IT・エレクトロニクス業界へ貢献
- ▶ 未来を拓く、研究開発

▶ 明治一大正 創業から鉱山経営拡大まで

▶ 大正一昭和 多角化の進捗

▶ 平成～ 世界に羽ばたく

古河機械金属グループ

シベリア鉄道のトンネル工にも貢献したドリルマシンポスター

山形県産の「山形産」

山形県産の「山形産」

1954年 鉱山炭鉱の自家用として

1914年 日本初の「さく岩機」制作

当社の**歴史**と**製品**を短い時間でわかりやすく紹介したコンテンツです。

<http://www.furukawakk.co.jp/pdf/others/introduction.pdf>



■ ガイドブック「FURUKAWA 140 YEARS」

旅は終わらない

FURUKAWA 140 YEARS
GUIDEBOOK

古河機械金属140年の歩みを、振り返る旅に出よう。

MOVIE LINEUP
FURUKAWA 140 YEARS (2015)

古河機械金属株式会社
〒330-8272 東京都千代田区小岩2-2-3
U.R.L. <http://www.furukawakk.co.jp>

② 近代化への道

安全への配慮

高度成長期

すべては鉱山から始まった

当社の140年の歩みを振り返るガイドブック。
写真の解説やコラムにより、**当社の起源、社会への関わり、現主力製品群**などを簡潔に紹介した冊子です。



<http://www.furukawakk.co.jp/pdf/guidebook2015.pdf>

補足資料 過去の部門別実績及び業績予想

【売上高】

(単位:百万円)

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期(予想)
機械部門	70,329	67,795	75,841	62,639	44,313	47,025	53,198	56,852	71,111	75,990	72,232	75,500
（産業機械）	(17,010)	(14,119)	(17,331)	(15,836)	(12,783)	(10,655)	(12,949)	(12,894)	(18,527)	(16,712)	(14,926)	(18,000)
（ロックドリル）	(32,778)	(33,046)	(37,497)	(29,427)	(20,386)	(23,880)	(24,143)	(23,305)	(26,842)	(30,910)	(30,076)	(29,300)
（ユニック）	(20,540)	(20,629)	(21,012)	(17,375)	(11,142)	(12,490)	(16,105)	(20,651)	(25,741)	(28,367)	(27,229)	(28,200)
金属部門	52,661	84,753	97,519	68,786	71,132	79,979	68,114	77,944	78,684	81,513	74,192	70,000
電子部門	15,922	9,364	8,751	5,568	5,969	7,147	4,615	4,987	5,381	5,743	5,477	5,700
化成部品部門	5,305	6,538	6,525	5,820	5,025	5,076	5,187	5,093	6,096	6,013	5,973	6,100
塗料部門(※1)	—	—	—	—	3,692	15,040	14,874	15,078	—	—	—	—
不動産部門	3,106	2,936	2,758	2,386	2,043	1,577	1,233	1,058	1,013	2,535	3,045	3,000
燃料部門(※2)	33,588	28,206	20,735	15,452	9,893	9,004	9,576	3,770	—	—	—	—
その他	1,022	1,154	1,294	1,204	854	785	766	753	739	747	876	1,200
合計	181,937	200,749	213,426	161,857	142,925	165,638	157,566	165,539	163,026	172,544	161,799	161,500

【営業利益】

(単位:百万円)

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期(予想)
機械部門	4,243	5,901	6,837	1,733	△3,022	△566	1,970	2,923	5,333	6,551	5,882	5,600
（産業機械）	(△979)	(72)	(837)	(767)	(433)	(△29)	(708)	(778)	(1,851)	(1,711)	(1,037)	(1,100)
（ロックドリル）	(2,579)	(3,120)	(3,702)	(255)	(△2,584)	(△350)	(333)	(△67)	(341)	(1,225)	(2,217)	(1,500)
（ユニック）	(2,643)	(2,708)	(2,297)	(710)	(△870)	(△186)	(928)	(2,212)	(3,141)	(3,614)	(2,627)	(3,000)
金属部門	5,779	8,837	6,206	23	3,224	1,494	308	282	1,503	1,449	1,154	1,250
電子部門	1,061	1,386	984	4	657	1,279	△234	△262	△123	52	△368	50
化成部品部門	435	701	470	201	104	269	251	304	315	267	197	250
塗料部門(※1)	—	—	—	—	△19	△93	△329	65	—	—	—	—
不動産部門	905	839	749	706	1,128	635	356	219	△43	776	1,276	1,000
燃料部門(※2)	150	△114	△430	202	△29	△56	△13	△28	—	—	—	—
その他	△219	△301	△228	△304	△376	△92	△93	△63	△60	△130	△72	△70
調整額	△227	△351	△181	△264	△69	△49	△60	△78	△39	△42	△80	△80
合計	12,129	16,898	14,407	2,303	1,597	2,821	2,154	3,363	6,886	8,925	7,988	8,000

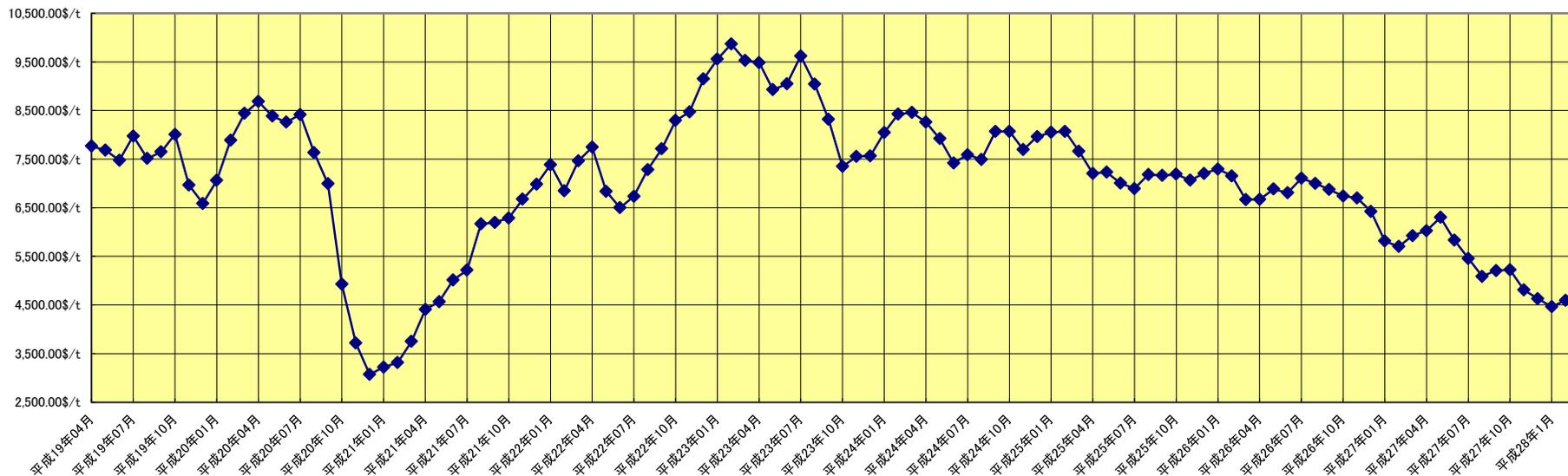
※1：09/12に㈱トウベを連結子会社化、13/03に㈱トウベの株式譲渡により塗料部門から撤退

※2：12/10に古河コマース㈱の株式譲渡により燃料部門から撤退

注：「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用（11年3月期）により10年3月期の数値を同基準に置き換えて表示しています

銅価格海外相場推移(月中平均)

※当社調べ



為替相場推移(月中平均)

※当社調べ

